



インターネットでの情報提供	
提供予定日	11月3日(水)

平成22年11月2日(火) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
農産園芸課	水田農業担当	田口 博康 杉原 鷹彦	058-272-1111(2868) 058-272-8436(直通)

## 県育成品種である新しいハツシモが いよいよ販売スタート!!

岐阜県を代表する米、「ハツシモ」が県の農業技術センターで、品種改良され60年ぶりにリニューアルしました。

この秋、本県で収穫され販売される新米のハツシモは、全て新しいハツシモとなり、県民の皆様にお届けできるようになります。

県では、この新しいハツシモを県民の方に親しみを持って食べていただくために、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会のマスコットキャラクターである「ミナモ」を使った米袋を新しく作成しました。デザインは県内の小学生に応募してもらい、その中から投票により選定しました。

また、この米袋は、県内の生協やイオン等の主な量販店、米屋で取り扱われる予定です。

なお、今回作成した米袋のデザインは、裏面のとおりです。

### 【参考】

#### 県内のハツシモの栽培状況

- ・ 県内の岐阜、西濃地域を中心に、約8,500haの作付
- ・ 県内の米の作付面積の36%を占めており、県内で一番作付面積の多い品種
- ・ 他県ではほとんど栽培されておらず、岐阜県のオンリーワン品種

#### 新しいハツシモの育成経緯

- ・ ハツシモは縞葉枯病という稲の病気に弱い
- ・ 県の農業技術センターにおいて、平成8年より縞葉枯病に強い品種の育成をスタート
- ・ 戻し交雑法により10年の歳月をかけ育成
- ・ 以降、昨年まで、現地調査を実施
- ・ 本年の作付より、県内のハツシモを全て新しいハツシモへ切替

5 k g用の米袋にこのデザインを使用します。

